

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

<b>事業名</b>	風しん排除対策推進費			<b>担当部署</b>	健康局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	<b>担当課室</b>	結核感染症課	浅沼 一成			
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)				<b>関係する計画、通知等</b>	「風しんに関する特定感染症予防指針」(平成26年厚生労働省告示第122号)				
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「風しんに関する特定感染症予防指針」(大臣告示)において、国は、関係機関との連携を強化し、国民に対し、風しんとその予防等に関する適切な情報提供を行うよう努めるものとするなどとしている。このため、風しん発生時対応の更なる強化を行い、風しんとその予防に関する普及啓発を実施し、早期に先天性風しん症候群の発生をなくすとともに風しんの排除に向けた取り組みを推進することを目的とする。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	予防の普及啓発や自治体に対する風しん対策の技術支援(発生手順の手引き作成等)を行うことにより風しん排除を達成する。								
<b>実施方法</b>	直接実施								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		当初予算	-	-	5	5	5		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計	0	0	5	5	5			
	執行額	-	-	5	-	-			
執行率(%)	-	-	100%	-	-				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 28年度	
	定期予防接種の接種率を95%以上にする	予防接種の接種率	成果実績	%	94.2	94.8	集計中	-	-
			目標値	%	95	95	95	-	95
			達成度	%	99.2	99.8	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	メディア等を活用した予防啓発の実施	活動実績	回	-	-	1	-		
		当初見込み	回	-	-	1	1		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	麻しん・風しん対策推進会議等会議の開催回数	活動実績	回	-	-	1	-		
		当初見込み	回	-	-	1	2		
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	単位当たりコスト = X / Y X:「風しん排除対策推進費執行額」 Y:「風しん対策普及啓発の実施回数」	単位当たりコスト	百万円	-	-	5	2.5		
		計算式	X/Y	-	-	5 / 1	5 / 2		
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	庁費	5	5	-					
	計	5	5						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること										
	施策	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること										
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 28 年度			
		予防接種の接種率(風しん) (結核感染症課調べ)	実績値	接種率	94.2	94.8	集計中	-	95			
			目標値	接種率	95	95	95	-	95			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	自治体に対する風しん対策の技術支援を行うことや予防の普及啓発を行う風しん発症地域における風しんの発生経路等の調査・分析を行い、風しん排除を達成するとともに、風しんの接種率の向上につながるものである。											
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-		
目標値			-	-	-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												
<b>事業所管部局による点検・改善</b>												
国費投入の必要性	項目									評価	評価に関する説明	
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。									○	感染症の発生・まん延を防止するため、風しんの根絶を推進する事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高く国費を投入しなければ事業目的を達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。									○	感染症の発生・まん延を防止するため、風しんの根絶を推進する事業であり、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。									○	感染症の発生・まん延を防止するため、風しんの根絶を推進する事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。									○	普及啓発の事業者は、一般競争入札により選定した。	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。									無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。									無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。									-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。									○	必要最低限の経費のみ計上しており、コストの水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。									-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。									○	風しん抗体検査や予防接種についての情報提供を行うために真に必要な費目としている。	
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)									-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。									-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。									○	成果目標を達成しており、見合ったものになっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。									-	-	
活動実績は見込みに見合ったものであるか。									○	見込み通りの活動実績である。		
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。									-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)									-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名									
	-	-	-									
点検・改善結果	点検結果	本事業は、「風しんに関する特定感染症予防指針」(厚生労働省告示122号)に基づく風しん排除達成のため実施しており、活動実績、成果目標達成度は見込みに見合ったものとなっている。なお、麻しんは、平成27年3月、世界保健機関より排除認定されたため、28年度は麻しんに係る予算を縮小した上、本事業と統合(麻しん・風しん排除対策推進費)としており、その予算の中で風しんの予防等に関する普及啓発等を行う予定である。										
	改善の方向性	引き続き、適正な事業の実施に努める。										



